

ツールの機能：本ツールには、3つの機能があります。

温室効果ガス削減支援ツール

産業廃棄物処理業の事業活動に伴う温室効果ガス排出量の算定等に関する支援ツール

1. 算定ツール

1.) 年度の指定

入力又は閲覧、印刷する年度を指定して下さい 平成25年度(2013年度)

2.) 活動量(燃料使用量、焼却量、最終処分量等)の入力

入力する活動量

収集運搬業(車両の燃料使用量) 最終処分業(廃棄物の最終処分量等)

中間処理業(廃棄物の焼却量等) 関連施設及び構内車両(産廃関連施設の燃料使用量)

活動量の入力

3.) 排出量の算定、閲覧

算定する温室効果ガス排出量

収集運搬業における排出量 最終処分業における排出量

中間処理業における排出量 関連施設及び構内車両における排出量

排出量の算定

排出量の経年変化グラフ

2. 地球温暖化対策の実施による削減効果の試算

※複数の試算を行う場合は、ファイルを複数に分けて保存して行ってください

地球温暖化対策の実施による削減効果の試算

削減効果試算結果の閲覧

3. 算定・報告・公表制度用の排出量算定、様式の出力

算定・報告・公表制度用の排出量算定

算定・報告・公表制度報告様式の出力

電気事業者別二酸化炭素排出係数の更新

温室効果ガス削減支援ツールver2.1
公益社団法人 全国産業廃棄物連合会



更新履歴 (H26.4現在)
・「特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令(H22.4.1施行)」に対応
・「日本の温室効果ガス排出・吸収目録(インベントリ)の算定方法(H23.3)」に対応

【メイン画面】

1

排出量の算定、算定結果の表示

温室効果ガス削減支援ツール
活動量(燃料使用量、焼却量、最終処分量等)の入力
平成25年度(2008年度)

収集運搬業(車両の燃料使用量)
収集運搬業の燃料使用量を入力して削減効果の算定を行います。

燃料の種類	燃料使用量	削減効果	削減率	削減率(%)
ガソリン	1000	1000	0.00	0.00
軽油	1000	1000	0.00	0.00
LPガス	1000	1000	0.00	0.00
天然ガス(液化天然ガス)	1000	1000	0.00	0.00
バイオエタノール	1000	1000	0.00	0.00
バイオメタンガス	1000	1000	0.00	0.00

【活動量の入力画面(収集運搬業)】

温室効果ガス削減支援ツール
収集運搬業における温室効果ガス排出量の算定
平成25年度(2008年度)

収集運搬業における温室効果ガス排出量の算定結果です。削減率の算定、再算定が可能です。

燃料の種類	燃料使用量	削減効果	削減率	削減率(%)
ガソリン	1000	1000	0.00	0.00
軽油	1000	1000	0.00	0.00
LPガス	1000	1000	0.00	0.00
天然ガス(液化天然ガス)	1000	1000	0.00	0.00
バイオエタノール	1000	1000	0.00	0.00
バイオメタンガス	1000	1000	0.00	0.00

【排出量の算定画面(収集運搬業)】

2

削減効果の試算、試算した削減効果の換算結果表示

温室効果ガス削減支援ツール
削減効果の試算
平成25年度(2008年度)

削減効果の試算について
削減効果の試算結果を表示します。

削減効果の試算結果

削減効果の種類	削減効果	削減率	削減率(%)
ガソリン	1000	1000	0.00
軽油	1000	1000	0.00
LPガス	1000	1000	0.00
天然ガス(液化天然ガス)	1000	1000	0.00
バイオエタノール	1000	1000	0.00
バイオメタンガス	1000	1000	0.00

【削減効果の試算画面】

温室効果ガス削減支援ツール
試算した削減効果の換算結果表示

削減効果の換算結果

削減効果の合計: 85.5 (tCO₂e)

削減効果の種類

- 森林面積: 23.9 (ha) の削減効果に相当します。
- 農地1ha: 5.1 (tCO₂e) となります。
- 平均的な家庭: 4.2 (tCO₂e) の電気使用量に相当します。
- クルマ1台: 1.94 (tCO₂e) となります。

【試算した削減効果の換算結果画面】

3

算定・報告・公表制度用の排出量の算定、報告様式の出力

温室効果ガス削減支援ツール
算定・報告・公表制度用の排出量算定
平成25年度(2008年度)

算定・報告・公表制度用の排出量算定結果です。削減率の算定、再算定が可能です。

燃料の種類	燃料使用量	削減効果	削減率	削減率(%)
ガソリン	1000	1000	0.00	0.00
軽油	1000	1000	0.00	0.00
LPガス	1000	1000	0.00	0.00
天然ガス(液化天然ガス)	1000	1000	0.00	0.00
バイオエタノール	1000	1000	0.00	0.00
バイオメタンガス	1000	1000	0.00	0.00

温室効果ガス削減支援ツール
算定・報告・公表制度用の排出量算定
平成25年度(2008年度)

算定・報告・公表制度用の排出量算定結果です。削減率の算定、再算定が可能です。

燃料の種類	燃料使用量	削減効果	削減率	削減率(%)
ガソリン	1000	1000	0.00	0.00
軽油	1000	1000	0.00	0.00
LPガス	1000	1000	0.00	0.00
天然ガス(液化天然ガス)	1000	1000	0.00	0.00
バイオエタノール	1000	1000	0.00	0.00
バイオメタンガス	1000	1000	0.00	0.00

【報告様式の印刷イメージ】

【算定・報告・公表制度用の排出量算定画面(収集運搬業)】

1. 排出源ごとに活動量を入力し、温室効果ガス排出量の算定、算定結果の表示を行います。

<目的>

事業者自らが温室効果ガス排出量を把握し、温室効果ガス排出量の削減に向けた取り組みを検討する基礎資料として、削減対策の実施を支援することを目的としています。

2. 地球温暖化対策を実施した場合の削減効果の試算、試算結果の表示を行います。

<目的>

温室効果ガス排出量の削減対策を実施・検討する前に、削減対策によって得られる効果を予測すること、また、削減対策を実施した後に、対策によってどの程度の削減効果が得られているのか検証することを目的としています。

3. 算定・報告・公表制度の算定方法に基づき、温室効果ガス排出量の算定、報告様式の出力を行います。

<目的>

報告対象規模業者(特定事業者)は、温対法に基づく報告を行うため、報告対象でない業者は、温対法に基づく排出量を試算することを目的としています。

操作手順

①排出量の算定（例：収集運搬業の場合） ※収集運搬業を例に挙げていますが、中間処理業、最終処分業も同様の手順となります。

温室効果ガス削減支援ツール

産業廃棄物処理業の事業活動に伴う温室効果ガス排出量の算定等に関する支援ツール

1. 算定ツール

1.) 年度の指定

入力又は閲覧、印刷する年度を指定して下さい

平成25年度(2013年度)

2.) 活動量(燃料使用量、焼却量、最終処分量等)の入力

入力する活動量

収集運搬業(車両の燃料使用量) 最終処分業(廃棄物の最終処分量等)

中間処理業(廃棄物の焼却量等) 関連施設及び構内車両(産廃関連施設の燃料使用量)

活動量の入力

3.) 排出量の算定、閲覧

算定する温室効果ガス排出量

収集運搬業における排出量 最終処分業における排出量

中間処理業における排出量 関連施設及び構内車両における排出量

排出量の算定

排出量の経年変化グラフ

2. 地球温暖化対策の実施による削減効果の試算

※複数の試算を行う場合は、ファイルを複数に分けて保存して行ってください

地球温暖化対策の実施による削減効果の試算

削減効果試算結果の閲覧

3. 算定・報告・公表制度用の排出量算定、様式の出力


算定・報告・公表制度用の排出量算定

算定・報告・公表制度報告様式の出力

電気事業者別二酸化炭素排出係数の更新

温室効果ガス削減支援ツールver2.1

公益社団法人 全国産業廃棄物連合会



更新履歴(H26.4現在)

- ・「特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令の一部を改正する省令(H22.4.1施行)」に対応
- ・「日本の温室効果ガス排出・吸収目録(インベントリ)の算定方法(H23.3)」に対応

【メイン画面】

1 排出量を算定する年度を選択する。

1.) 年度の指定

入力又は閲覧、印刷する年度を指定して下さい

平成20年度(2008年度)

2.) 活動量(燃料使用量、焼却量、最終処分量等)の入力

入力する活動量

年度を選択する。

【メイン画面】

1. メイン画面の「年度の選択リスト」から活動量の入力及び排出量の算定を行う年度を選択します。

2 活動量(燃料使用量等)を入力する。

燃料使用量等を入力する。

単位を選択する。

【活動量の入力画面(収集運搬業)】

2. メイン画面の「入力する活動量」から収集運搬業を選択して、「活動量の入力」ボタンを押すと、活動量の入力画面が表示されます。

活動量の入力画面の水色の入力欄に数値(燃料使用量等)を入力します。入力単位は、単位の欄をクリックして表示されるリストから選択します。

3 排出量を算定する。(自動で計算、表示されます。)

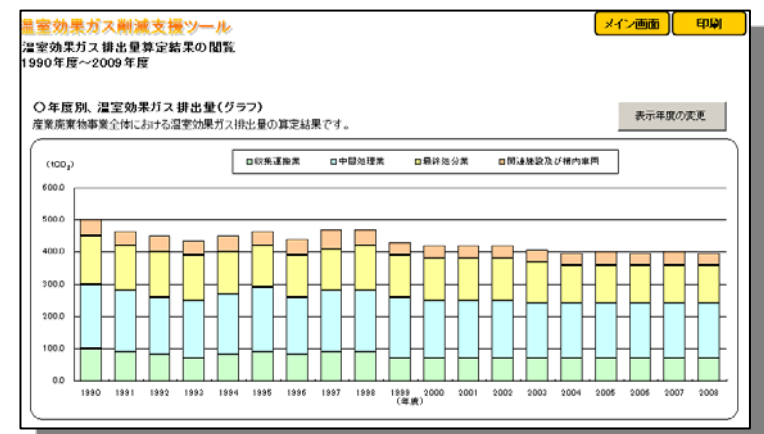
算定結果が表示される。

【排出量の算定画面(収集運搬業)】

3. メイン画面の「算定する温室効果ガス排出量」から収集運搬業を選択して、「排出量の算定」ボタンを押すと、排出量の算定画面が表示されます。

排出量は、入力した活動量をもとに自動で計算されます。算定表の水色の記入欄「排出係数」「単位発熱量」には値が自動で指定されますが、他の値の入力もできます。

メイン画面の「排出量の経年変化グラフ」ボタンを押すと、算定した排出量の経年変化グラフが表示されます。



【排出量の経年変化グラフ】

温室効果ガス削減支援ツール

産業廃棄物処理業の事業活動に伴う温室効果ガス排出量の算定等に関する支援ツール

1. 算定ツール

1.) 年度の指定

入力又は閲覧、印刷する年度を指定して下さい 平成25年度(2013年度)

2.) 活動量(燃料使用量、焼却量、最終処分量等)の入力

入力する活動量

収集運搬業(車両の燃料使用量) 最終処分業(廃棄物の最終処分量等)

中間処理業(廃棄物の焼却量等) 関連施設及び構内車両(産廃関連施設の燃料使用量)

活動量の入力

3.) 排出量の算定、閲覧

算定する温室効果ガス排出量

収集運搬業における排出量 最終処分業における排出量

中間処理業における排出量 関連施設及び構内車両における排出量

排出量の算定

排出量の経年変化グラフ

2. 地球温暖化対策の実施による削減効果の試算

※複数の試算を行う場合は、ファイルを複数に分けて保存して行ってください

地球温暖化対策の実施による削減効果の試算


削減効果試算結果の閲覧

3. 算定・報告・公表制度用の排出量算定、様式の出力

算定・報告・公表制度用の排出量算定

算定・報告・公表制度報告様式の出力

電気事業者別二酸化炭素排出係数の更新



産業廃棄物処理業の削減支援ツール
「削減支援」

温室効果ガス削減支援ツールver2.1
公益社団法人 全国産業廃棄物連合会

更新履歴(H26.4現在)

- ・「特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令(H22.4.1施行)」に対応
- ・「日本の温室効果ガス排出・吸収目録(インベントリ)の算定方法(H23.3)」に対応

【メイン画面】

1 地球温暖化対策の実施による削減効果を試算する。

温室効果ガス削減支援ツール

地球温暖化対策の実施による削減効果の試算
平成20年度(2008年度)

削減効果の試算表について
下記一覧から削減効果を試算する
表示した削減表に必要な値を入力

地球温暖化対策

選別機の向上 下水汚泥内における燃焼の高効率化 最終処分場周辺地及び処分場跡地の緑化

産業廃棄物を原料としたエネルギー利用 単貯気性埋立構造の採用 収集運搬時の燃料使用量削減

廃棄物発電設備の導入 最終処分場発生ガスの回収・焼却 バイオマス燃料の使用

発電効率の向上 適正な最終処分場管理 省エネルギー行動の実践、省エネルギー機器の買い替え

廃棄物熱利用設備の導入 生分解性廃棄物の埋立量の削減

排出係数を表示

廃棄物発電設備の導入
産業廃棄物焼却施設における廃熱を回収して電力利用することで削減された産業廃棄物の処理量に相当する温室効果ガス排出量が削減効果となる。

温室効果ガス削減支援ツール

地球温暖化対策の実施による削減効果の試算

削減効果の試算表について
下記一覧から削減効果を試算する際にチェックを入れてください。対応する削減表が表示されます。
表示した削減表に必要な値を入力することで、削減効果が自動で算定されます。

地球温暖化対策

選別機の向上 下水汚泥内における燃焼の高効率化 最終処分場周辺地及び処分場跡地の緑化

産業廃棄物を原料とした燃料・製品製造 単貯気性埋立構造の採用 収集運搬時の燃料使用量削減

廃棄物発電設備の導入 最終処分場発生ガスの回収・焼却 バイオマス燃料の使用

発電効率の向上 適正な最終処分場管理 省エネルギー行動の実践、省エネルギー機器の買い替え

廃棄物熱利用設備の導入 生分解性廃棄物の埋立量の削減

排出係数を表示

廃棄物発電設備の導入

削減効果試算表が表示される。

削減効果試算表が表示される。

入力(運転時間、建設の発電出力)	運転時間 (h/年)	発電出力 (kW)	発電効率 (%)	発電量 (千kWh)	削減効果 (tCO ₂)
廃棄物発電	7000	495.0	15.0	59.0	29.8

【削減効果の試算画面】

削減効果試算表が表示される。

試算に必要な数値を入力する。

入力(運転時間、建設の発電出力)	運転時間 (h/年)	発電出力 (kW)	発電効率 (%)	発電量 (千kWh)	削減効果 (tCO ₂)
廃棄物発電	7000	495.0	15.0	59.0	29.8

【削減効果試算表(廃棄物発電設備の導入)】 試算結果が表示される。

2 試算した削減効果の合計、換算結果を表示する。

温室効果ガス削減支援ツール

試算した削減効果の閲覧

削減効果の合計 85.5 (tCO₂)

試算した削減量の合計結果が表示される。

換算結果が表示される。

○森林面積に換算すると、

森林面積 23.9 (ha) の吸収量に相当します。

※1ヘクタールの森林の炭素吸収量は0.374(tCO₂/ha)として試算。
(出典:「森林吸収力」(国土交通省、2009年改訂版、国土省、国土院、国土院、国土院))

それを東京ドームの個数に換算すると、

東京ドーム 5.1 (個) となります。

※東京ドームの建設面積を46,775m²として試算。(出典:「東京ドーム」)

○電気使用量に換算すると、

平均的な家庭 42.8 (世帯) の電気使用量に相当します。

※電気の二酸化炭素排出係数を0.555(tCO₂/千kWh)、一家庭あたり年間電気使用量を3(千kWh)として試算。
(出典:「世帯あたり平均電力消費量の推移」(電気事業連合会))

それを原油換算すると、

ドラム缶 194.0 (本) となります。

※原油換算係数を76(MJ/kWh)、原油換算係数を0.0258(tCO₂/MJ)、ドラム缶の容量を200ℓとして試算。

森林面積 = 23.9ha

東京ドーム × 5.1個

平均的な家庭 = 42.8世帯

ドラム缶 × 194本

【試算した削減効果の換算結果画面】

1. メイン画面の「地球温暖化対策の実施による削減効果の試算」ボタンを押すと、削減効果の試算画面が表示されます。

削減効果の試算画面の地球温暖化対策から実施予定または実施中の削減対策にチェックを入れます。

チェックした対策に対応する削減効果の試算表が表示されます。

試算表の水色の記入欄に、試算に必要な数値を入力します。削減量は、入力した数値から自動で計算されます。

2. メイン画面の「削減効果試算結果の閲覧」ボタンを押すと、削減効果試算結果画面が表示されます。

削減効果試算結果画面には、試算した削減量の合計値及び「森林面積」「電気使用量」等に換算した結果が表示されます。

※「東京ドーム」の個数は、換算した「森林面積」を東京ドームの建築面積(46,775m²)で割った結果です。「ドラム缶」の本数は、換算した「平均的な家庭の電気使用量」を原油換算しドラム缶1本あたりの容積(200ℓ)で割った結果です。

温室効果ガス削減支援ツール

産業廃棄物処理業の事業活動に伴う温室効果ガス排出量の算定等に関する支援ツール

1. 算定ツール

1.) 年度の指定

入力又は閲覧、印刷する年度を指定して下さい 平成25年度(2013年度)

2.) 活動量(燃料使用量、焼却量、最終処分量等)の入力

入力する活動量

収集運搬業(車両の燃料使用量) 最終処分業(廃棄物の最終処分量等)

中間処理業(廃棄物の焼却量等) 関連施設及び構内車両(産廃関連施設の燃料使用量)

活動量の入力

3.) 排出量の算定、閲覧

算定する温室効果ガス排出量

収集運搬業における排出量 最終処分業における排出量

中間処理業における排出量 関連施設及び構内車両における排出量

排出量の算定

排出量の経年変化グラフ

2. 地球温暖化対策の実施による削減効果の試算

※複数の試算を行う場合は、ファイルを複数に分けて保存して行ってください

地球温暖化対策の実施による削減効果の試算


削減効果試算結果の閲覧

3. 算定・報告・公表制度用の排出量算定、様式の出力

算定・報告・公表制度用の排出量算定

算定・報告・公表制度報告様式の出力

電気事業者別二酸化炭素排出係数の更新


産業廃棄物処理業向け「E-TOPI」
「E-TOPI」

温室効果ガス削減支援ツールver.2.1
公益社団法人 全国産業廃棄物連合会

更新履歴(H26.4現在)

- 「特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令の一部を改正する省令(H22.4.1施行)」に対応
- 「日本の温室効果ガス排出・吸収目録(インベントリ)の算定方法(H23.3)」に対応

【メイン画面】

1

報告する年度を選択する。

1.) 年度の指定

入力又は閲覧、印刷する年度を指定して下さい

平成20年度(2008年度)

年度を選択する。

2.) 活動量(燃料使用量、焼却量、最終処分量等)の入力

入力する活動量

【メイン画面】

2

活動量を入力し、排出量を算定する。

温室効果ガス削減支援ツール

算定・報告・公表制度用の排出量算定

平成20年度(2008年度)

温室効果ガスである物質の区分

区分	温室効果ガス算定排出量	排出係数・発熱量の初期化	報告年度
1. エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	0 t-CO ₂		2008
2. エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素以外の二酸化炭素	0 t-CO ₂		2008
3. メタン	0 t-CO ₂		2008
4. 一酸化二窒素	0 t-CO ₂		2008

活動量を入力する。

単位を選択する。

【算定・報告・公表制度用の排出量算定画面(収集運搬業)】

3

算定・報告・公表制度の報告様式を出力する。

報告年度: 年度

特定排出者コード

都道府県コード

事業コード

エネルギーの使用の合理化に関する法律に基づく第一種エネルギー管理指定工場等の該当の有無(該当する場合にはその番号及び同法に基づく指定に係る番号を記載)

備考 1 特定排出者コード、都道府県コード及び事業コードの欄には、環境大臣及び経済産業大臣が定めるところにより、それぞれ特定排出者、都道府県及び事業ごとに付された番号を記載すること。
2 ※の欄には、記載しないこと。

第1表 温室効果ガス算定排出量(その1)

温室効果ガスである物質の区分	温室効果ガス算定排出量
1. エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	887 t-CO ₂
2. エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素以外の二酸化炭素	0 t-CO ₂
3. メタン	0 t-CO ₂
4. 一酸化二窒素	0 t-CO ₂
5. ハイドロフルオロカーボン	0 t-CO ₂
6. パーフルオロカーボン	0 t-CO ₂
7. 六ふっ化硫黄	0 t-CO ₂

算定結果が印字される。

2 ページ

【報告様式の印刷イメージ】

1. メイン画面の「年度の選択リスト」から報告を行う年度を選択します。

2. メイン画面の「算定・報告・公表制度用の排出量算定」ボタンを押すと、算定・報告・公表制度用の算定画面が表示されます。

算定画面の水色の入力欄に数値(活動量等)を入力します。入力単位は、単位の欄をクリックして表示されるリストから選択します。排出量は、入力した活動量をもとに自動で計算されます。算定表の水色の記入欄「排出係数」「単位発熱量」には値が自動で指定されますが、他の値の入力もできます。

※「報告年度の活動量をコピー」ボタンを押すと、活動量の入力画面で入力した活動量をコピーします。

※「過去の報告データをコピー」ボタンを押すと、過去の報告データをコピーします。(前年度の報告データをコピーする際に使用します。)

3. メイン画面の「算定・報告・公表制度報告様式の出力」ボタンを押すと、算定した排出量を印字した報告様式(様式1及び別表)の印刷イメージを表示します。

印刷イメージの記入箇所(事業所名称等)を編集できるので、あらかじめ入力しておけば印刷することができます。

※環境省および経済産業省より公表される「電気事業者別二酸化炭素排出係数」は、2015年度実績値までシステムに登録されています。最新年度の排出係数が公表された場合は、メイン画面の「電気事業者別二酸化炭素排出係数の更新」ボタンを押し、表示された更新画面で新しい排出係数の登録を行ってください。

環境省の算定・報告・公表制度の特設ページ

「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度について」

<http://ghg-santeikohyo.env.go.jp/>